

ワンフォオール株式会社

代表取締役 松下 隆氏

自社製品の開発を目標に掲げ 経営基盤と技術力の向上に取り組む



“One for all, all for one(won)”を 社名と企業理念に掲げて

社名はラグビーで有名な“One for all, all for one(won)=ひとり
はみんなのために、みんなはひとり(勝利)のために”ということばに由
来するもので、これが企業理念にもなっている同社。「いつかビジネス
で独り立ちしたら、後ろに続く人にボールを投げるような生き方をした
いと若い頃から思っていたので、そのまま社名にしました」と、松下隆社
長は社名に込めた想いを語ります。

23歳で起業してレストラン経営を始めた松下社長は、人材を育てる
ような経営をしたいと製造業に転身することを決意し、昭和63年に前
身となる松下製作所を設立しました。当時、スイスから日本に入ってきた
PVDF(ポリフッ化ビニリデン樹脂)製のパイプに着目、自ら資料を見
ながら溶着や加工を繰り返してマニュアルを作ることからスタートしま
した。

同社が製造しているのは、システム配管と呼ばれる、配管パーツを組み
合わせた形状の製品で、受注生産で個々のラインに合わせた適切な
設計を行い、大手メーカーが手がけない小ロット、多品種少量生産に
対応しています。

熱溶着で接合部を一体化するIR溶着やソケット溶着、接合部の盛り
上がりのないビード
レス溶着など、多様な
技術を用いて、PVDF
のほかにもPP(ポリ
プロピレン)やPE(ポリ
エチレン)、PTFE/PFA
(フッ素樹脂)などの
各種樹脂・プラスッ
クを加工、半導体液晶
産業関連の製造装置

